

精神障害学生への 合理的配慮を含めた 包括的支援を考える

筑波大学 ヒューマンエンパワーメント推進局
教育関係共同利用拠点 第2回FD/SD研修会@zoom

オンデマンド配信11/4～12/7

日本学生支援機構の調査では、近年、精神障害のある学生の在籍が最も多くなっています。症状の変動や治療の必要性から、学修支援にとどまらず、心理・医療的支援の連携が欠かせません。また自死リスクの高さをふまえた啓発や学内ネットワークづくりも重要な課題です。本研修では、支援コーディネーターやカウンセラー、学校医など多様な立場から現状と課題を共有し、部署を越えてどのような支援が可能か、実践的なあり方をともに考えます。

○開会・趣旨説明

森 千夏（筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 助教）

○「精神障害学生の合理的配慮における現状と課題」

緒方 敦子（大阪大谷大学障がい学生支援室 支援コーディネーター）

○「精神障害学生へのアセスメントのあり方」

諏訪 絵里子（目白大学心理学部 准教授）

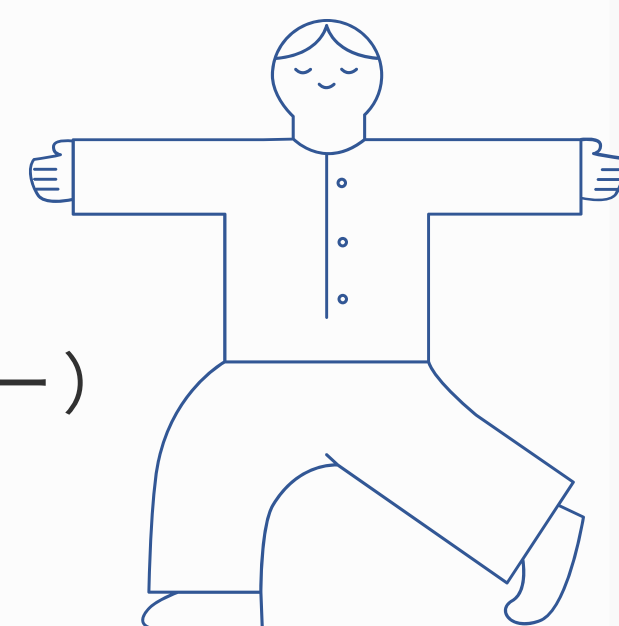
○「精神障害学生が支援を“選択する”ためにできること～学生相談の立場から～」

堀田 亮（岐阜大学保健管理センター 准教授）

○「精神障害学生への学内における精神科の役割について」

足立 浩祥（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授）

○パネルディスカッション



お申込はこちらから

対象：高等教育機関において障害のある学生の支援・指導に関係する教職員

申込：以下のURL及びQRコードよりお読み取りください。※12月7日(日)締切です。

<https://forms.office.com/r/zaJR6vXrNP>

※配信動画には文字通訳と手話通訳がついています

【お問合せ】

Mail: radd-info@un.tsukuba.ac.jp TEL: 029-853-3889/3888

BHE
Bureau of Human Empowerment